

反対

### 可決 一般会計予算など6議案に対し

佐藤仁志、那須英二、加藤明由議員

中学校のスクールカウンセラーの相談時間が1時間も増えない。事件の教訓が活かされていない残念な予算。コロナ禍で困っている市民を助けようという気持ちも感じられず、その一方で自由通路は進める。どこを見て市政を運営しているか、全く市民を見ていない。下水道事業には毎年5億円規模で一般会計からの繰り入れが必要となり、見直しが必要。

反対

### 可決 議案第9号に対し

佐藤仁志議員

人口規模が似ている市と比較して、課の数が多すぎて、課の規模が小さすぎる。人事異動の引き継ぎも課でカバーできておらず、課同士の調整ができていない縦割りの弊害も出てきている。組織の細分化に異議を唱える。次年度は大きな組織に戻してほしい。

反対

### 可決 議案第19号、第20号に対し

横井克典、佐藤仁志、那須英二、加藤明由議員

国土交通省から通達がありながら、踏切歩道設置を放置してきた。踏切道の改良を最優先に行うべき。駅周辺を面的に整備する案を公表して進めるべき。交通誘導員の配置は、自由通路整備後も改善されない。鉄道事業者との交渉過程も不透明。

反対

平野広行議員

不採択

### 請願第1号に対し

佐藤仁志、那須英二、加藤明由議員

賛成

利便性向上のため、駅周辺をバリアフリー化することを目的として、自由通路通行者数の多少にかかわらず、弥富市が事業主体になる。平成31年2月での、総合計画に対する市民説明会で報告し、正規の手続きを経て、市民の皆様のご理解のもと市政運営をしている。

討論

市長の説明不足で、市民の意見を聞かないことが問題。令和元年度まで、6年連続して実質単年度収支が赤字。市の財政は、不安定で綱渡りの状況。予算がどれだけかかろうが、どのような手段を用いても進むという態度を改め、一度立ち止まるべき。

反対

加藤克之議員

不採択

### 請願第2号に対し

板倉克典、加藤明由議員

賛成

少子化に伴い県立高校は定員割れが数年続いている。統廃合を進め、さらに質の高い教育へ発展させるべき。必要な人員、人材の確保、施設整備、運営基盤の刷新をすることで、効率的に子どもたちに教育予算をかけることができる。

討論

県立高校が海部津島地区の北部に集中することになり、海翔高校の廃校は適正配置からかけ離れている。地域や保護者、生徒、教員の意見が反映されていない。財政豊かな県が予算をかければ少人数学級で存続できる。

社会経済の進展に対応して、行政が著しく多様化し、専門化してくることから、常任委員会を分割し、専門的知識の養成や議案の分割的処理を図ることで議案の成立までの過程を能率的かつ効果的なものにする。

発議第3号  
弥富市議会会議規則の一部改正について

発議第2号  
弥富市議会委員会条例の一部改正について

私たち弥富市議会は、生命の尊厳と恒久平和を希求する弥富市民を代表する議会として、ロシア政府に対し、ウクライナからの即時かつ無条件の撤退と、全ての人々の人権が尊重される平和的解決を断固求める。(全文は裏表紙に掲載)

発議第1号  
ロシアによるウクライナへの侵略行為を断固非難する決議について

◆地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書  
提出先「デジタル大臣、地方創生担当大臣、新型コロナウイルス対策・健康危機管理担当大臣、デジタル田園都市国家構想担当大臣」

意見書の提出